

ヤグルマギクを退治しましょう！！

松本農業改良普及センター

近頃、野生化したヤグルマギクが、麦畑や道沿い・畦周りで目立っています。麦畑に広がると、農作業の妨げになるばかりでなく、たくさん発生すると大減収となってしまいます。

ヤグルマギクの特徴

冬を越して花が咲く一年生雑草（冬雑草） 花色：青、白、ピンクなど
芽のでる時期：10月～11月 花の咲く時期：5～6月



対策のポイント

① ほ場の発生が少ない、まだ発生していない場合

- 発生が少ないうちが根絶のチャンスです。花の色を目印に、圃場や周囲の畦畔で見つけ次第抜き取りましょう。



道路沿いにも広がっています



きれいな花ですが、刈り残さないで下さい

② ほ場の発生が目立ちはじめた場合

- 麦収穫後に代かきをし、水張りを1ヶ月以上続けて、種子を減らしましょう。（半月程度の水張りでは効果がありません）
- 水張りだけでは防除できないので、必ず麦播種後に土壌処理除草剤を散布しましょう。
- それでも残った場合は、ヤグルマギクが小さい内（500円玉位の大きさ：11月下旬～12月上旬）に茎葉処理の除草剤を散布しましょう。



防除方法やご不明な点は、お近くのJA・農業改良普及センターまでご相談ください。